

工事費内訳書作成要領

1 工事費内訳書は次の場合に作成し、提出してください。

- ① 一般競争入札(※1)に参加する場合
- ② 通常型指名競争入札に参加する場合
- ③ 見積合わせ(※2)に参加する場合

(※1) 入札後資格確認型一般競争入札及び一般競争入札(WTO対象)

(※2) 特命随意契約を除く、設計金額100万円以上予定価格400万円以下の見積合わせ

上記の競争入札等に参加する場合、あらかじめ工事費内訳書を作成し、入札(見積)書の提出時に提出する必要があります(電子入札システムにより入札を行う場合は、入札書と一緒に送付することとなりますので注意してください。)

このことは、入札公告及び入札説明書(通常型指名競争入札及び見積合わせの場合は、指名通知時等に配付する資料)にも記載しております。

2 工事費内訳書のデータを作成するときは、次のものを使用してください。

- (1) 工事費内訳書は、マイクロソフト社のワード若しくはエクセル又はアドビシステムズ社のアクトバット(PDF作成ツール)により作成し、容量は3メガバイト以下としてください。ただし、本局が他の作成ツールを指定する場合には、これに従ってください。
- (2) 工事費内訳書は、LZH又はZIP形式に限り圧縮することを認めるものとし、ファイル名に半角の「&」を使用すること及び自己解凍形式によるファイル圧縮を行うことはいずれもしてはいけません。また、ファイル名に「.exe」という拡張子が付くEXEファイルを添付してはいけません。

3 工事費内訳書は、次のとおり作成してください。

- (1) 記載事項は次のとおりです。(工事費内訳書の余白に挿入するか、別の表紙に記載してください。)

ア 提出年月日(※開札日ではありません。作成日を記載してください。)

イ 入札(見積)者の所在地、商号又は名称、代表者の職氏

※「代表者」には継続して委任を受けている支店長・営業所長等を含みます。

ウ その工事費内訳書の内容について回答ができる者の所属・氏名及び連絡先電話番号

エ 工事名及び工事場所

オ 工事費の内訳

※所定のレベル(明細)まで必要です。(2)参照のこと。

※入札金額の内訳として、材料費、労務費、法定福利費、建設業退職金共済契約に係る掛金、安全衛生経費の記載が必要です。(国土交通省「[直轄工事における工事費内訳書への労務費等の記載について](#)」参照のこと。)

- (2) 工事費の内訳の明細はここまで必要です。

工事費の内訳は、一番上位の項目から第3段階のレベル(明細)まで(下のア、イの①～

4 工事費内訳明細書、工事費積算書も作成してください。

上記3で作成した工事費内訳書のほか、工事費内訳明細書及び工事費積算書（別記《参考》「工事費内訳書等について」を参照）も別途作成する必要があります。

- (1) 工事費内訳明細書は、工事費内訳書より**1段階下のレベル（明細）まで必要**です（一番上位の項目から**第4段階のレベル（明細）まで記載**してください。）。その工事に係る設計書（金抜き）の各項目に対応した項目名、単位、数量及び金額を記載してください。なお、本局の設計書（金抜き）がそのレベルまで作成していない場合は、作成されているレベルまで記載してください。

工事費内訳明細書は、次の場合に提出する必要があります。

ア 調査基準価格を設定した工事において、調査基準価格を下回る金額での入札となった場合に、開札日（落札候補者決定の日）の翌日から起算して5日（広島市の休日は含まない。）後の午後5時まで低入札価格調査報告書に添付して提出する必要があります。

イ 指名競争入札で、調査基準価格を設定した工事において調査基準価格を下回る金額での入札となった場合に、開札日（落札候補者決定の日）の翌日から起算して5日（広島市の休日は含まない。）後の午後5時まで低入札価格調査報告書に添付して提出する必要があります。

- (2) 工事費積算書は、工事費内訳明細書に記載すべき内容に加え、その工事の設計書（金抜き）の全ての明細に対応させて必ず作成してください。談合情報が寄せられた場合は、工事費積算書の提出を求めます。また、低入札価格調査時には、提出を求めることがあります。この場合、指定した期限までに提出してください。

※ 見積合わせは、低入札価格調査の対象外です。

調査基準価格を下回る金額での入札をしたことが明らかとなった場合は、「低入札価格調査報告書作成要領」（ホームページに掲載しています。）もよく読んで書類作成してください。

5 工事費内訳書・工事費内訳明細書の作成に当たっては、次の点に注意してください。

- (1) 「出精値引 △〇, 〇〇〇円」、「端数処理 △〇〇〇円」などのような経費の根拠が不明確となる記載はしないこと。
- (2) 別記に掲げる無効事由に該当する場合は、入札を無効とします。
- (3) 談合情報が寄せられた場合は、提出された工事費内訳書及び工事費内訳明細書（以下「工事費内訳書等」という。）を公正取引委員会及び警察に提出することがあります。
- (4) 提出された工事費内訳書等は返却しません。
- (5) 当該工事の設計書（金抜き）が、予算の都合上、直接工事費等において、補助・単独・起債などに分けられている場合、共通仮設費・現場管理費・一般管理費など率計上する経費については、補助・単独・起債ごとの内訳は必ずしも作成する必要はありません。（工事費内訳書等において、合計分の計上は当然必要です。また、予算別に分けて工事費内訳書等を作成してもかまいません。）
- (6) 作成した工事費内訳書等は、提出する前に記載した項目名、単位、数量及び金額を確認し、必ず検算を行うこと。

工事費内訳書又は工事費内訳明細書が次表の無効事由に該当するときは、その入札を無効とする。

無効事由	備考
記名がないもの	共同企業体であるのに共同企業体の記名がなく、代表者単体の記名となっている場合を含む。
工事名がないもの	
工事名が誤っているもの	工事名の一部に誤りがあるが、当該工事の工事費内訳書であることが特定できる場合を除く。
別工事の工事費内訳書であるもの	
他の入札参加者から入手した工事費内訳書を使用しているもの	
工事費内訳書を提出しないもの	
工事費内訳明細書を提出すべき場合において工事費内訳明細書を提出しないもの	
工事費内訳書が所定のレベルまで記載されていないもの	「所定のレベルまで記載されていない」とは、第1段階のレベルから第2段階のレベルまでの記載はあるものの、第3段階のレベルの記載が全くないものをいう。
工事費内訳書に入札金額の内訳として、材料費、労務費、法定福利費、建設業退職金共済契約に係る掛金、安全衛生経費が記載されていないもの	<p>記載が抜けている場合、又は様式間違い等により事項の欄がない場合も無効とする。</p> <p>なお、以下の場合は無効としない。</p> <ol style="list-style-type: none"> すべてを計上できない場合、「算出不能」、「計上不可」等その旨がわかるように記載しているもの 一部のみ計上できない場合はその旨記載し、計上可能な分のみ記載しているもの 工事費内訳書とは別紙で記載しているもの (記載例：土木工事の場合) <ul style="list-style-type: none"> ・直接工事費のうち、材料費〇〇円 ・直接工事費のうち、労務費〇〇円 ・現場管理費のうち、法定福利費の事業主負担額〇〇円 ・現場管理費のうち、建設業退職金共済契約の掛金〇〇円 ・工事原価のうち、安全衛生経費〇〇円 <p>※見積合わせについては、記載は求めるが、記載がない場合に無効とはしない。</p> <p>※上記1及び2の取扱いが認められるのは、市場単価方式や標準単価方式等を活用している場合等により算出が困難な場合に限る。</p> <p>※令和8年4月1日以降に入札公告を行った工事から記載を求めるが、無効とするのは令和8年6月1日以降に入札公告を行った工事を対象とする。</p>
工事費内訳明細書が所定のレベルまで記載されていないもの	「所定のレベルまで記載されていない」とは、第1段階のレベルから第3段階のレベルまでの記載はあるものの、第4段階のレベルの記載が全くないものをいう。
工事費内訳書の工事費合計金額(工事価格(税抜))が入札書記載金額と異なるもの	<p>ただし、工事費内訳書の工事費合計金額(工事価格(税抜))の千円未満の端数を切り捨てた額を入札書記載金額としている場合は無効としない。したがって、金額の相違が千円未満であっても端数切捨てでない場合、切捨て以外の端数整理、税込みと税抜きの誤記等は無効となる。</p> <p>工事費内訳書の工事費合計金額(工事価格(税抜))とは、内訳書及び明細書に記載の各項目に対応する金額を足して得た額をいう。したがって、内訳書又は明細書に計算誤りがあり、この誤りを正せば工事費内訳書の工事費合計金額(工事価格(税抜))と入札書に記載の金額と異なる額となる場合は、無効とする。</p>

(令和8年6月)

「値引き」等の記載があるもの また、記載はないが金額欄で端数処理しているもの	「出精値引 △〇,〇〇〇円」、「端数処理 △〇〇〇円」などのような経費の根拠が不明確となる記載がある場合は無効とする。また、記載はないが金額欄で端数処理しているものは無効とする。
消費税等相当額の税率が異なるもの	消費税等相当額の税率が、適用されるべき税率と異なっている。
電子ファイルがウイルスに感染していたもの又はファイル名に「.exe」という拡張子が付くEXEファイルのもの	

《参考》

工事費内訳書等について

種 別	説 明
工事費内訳書	当該工事の設計書（金抜き）の各項目に対応させて、一番上位の項目から第3段階のレベルまで作成する。 入札（見積）時に提出する。
工事費内訳明細書	当該工事の設計書（金抜き）の各項目に対応させて、一番上位の項目から第4段階のレベルまで作成する。 調査基準価格を下回る入札となった場合に低入札価格調査報告書の一部として提出する。
工事費積算書	当該工事の設計書（金抜き）のすべての明細に対応させて作成する。 低入札価格調査時に求められた場合に提出する。 談合情報が寄せられた場合等に提出する。

※ 「提出する」とは、持参あるいは電子入札システムによる送付のことを言う。

様式1-1 (土木関係工事の事例) 記載例1

令和 年 月 日

広島市水道事業管理者

所在地
商号又は名称
代表者職氏名
回答できる者の氏名
及び連絡先 () - (内)

工事費内訳書

《注意》
内訳は必ず種別(レベル3)まで記載すること。記載していないものは無効とします。

工事名
工事場所

費目・工事区分・工種・種別	数量	単位	単価	金額	摘要
管布設工事 100mm GXPEDCP				XX,XXX,XXX	
本管工				XX,XXX,XXX	
作業土工	1	式		X,XXX,XXX	第0001号明細書
管据付工	1	式		X,XXX,XXX	第0002号明細書
舗装工	1	式		X,XXX,XXX	第0003号明細書
土留工	1	式		X,XXX,XXX	第0004号明細書
支給材	1	式	《注意》支給材の金額は、直接工事費に含めないため、金額入力のためは必要はありません。	---	直接工事費に含めない
管布設工事				---	
100mm GXPEDCP	1	式		---	第0005号明細書
直接工事費計				XX,XXX,XXX	
うち材料費	1	式		X,XXX,XXX	
うち労務費	1	式		X,XXX,XXX	
共通仮設費計				X,XXX,XXX	
共通仮設費(積分)				X,XXX,XXX	
運搬費	1	式		X,XXX,XXX	第9001号明細書
準備費	1	式		X,XXX,XXX	第9002号明細書
役務費	1	式		X,XXX,XXX	第9003号明細書
共通仮設費(率分)	1	式		X,XXX,XXX	
純工事費				XX,XXX,XXX	

様式1-1 (土木関係工事の事例) 記載例2

令和 年 月 日

広島市水道事業管理者

所在地
商号又は名称
代表者職氏名
回答できる者の氏名
及び連絡先 () - (内)

工事費内訳書

<注意>
内訳は必ず種別(レベル3)まで記載すること。記載していないものは無効とします。

工事名
工事場所

Table with 6 columns: 費目・工事区分・工種・種別, 数量, 単位, 単価, 金額, 摘要. Rows include items like 管布設工事, 本管工, 作業土工, 支給材, 現場管理費, etc.

<注意>支給材の金額は、直接工事費に含めないため、金額入力する必要はありません。

<注意>
「出精値引 △〇〇〇円」のような記載はしないこと。

- (別表あるいは別紙に記載)
直接工事費のうち、材料費 一式 XX,XXX,XXX 円
直接工事費のうち、労務費 一式 XX,XXX,XXX 円
現場管理費のうち、法定福利費の事業主負担額 一式 XX,XXX,XXX 円
現場管理費のうち、建設業退職金共済契約の掛金 一式 XX,XXX,XXX 円
工事原価のうち、安全衛生経費 一式 XX,XXX,XXX 円

様式1-2 (土木関係工事の事例) レベル3

第0001号 明細書 管布設工事 100mm GXPEDCP
作業土工

これは明細書の例です。
これはレベル3です。

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
機械掘削工	〇〇	m3	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
機械埋戻し	〇〇	m3	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
合 計				X, XXX, XXX	

第0002号 明細書 管布設工事 100mm GXPEDCP
管据付工

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
管吊込み据付	〇〇	m	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
管継手	〇〇	口	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
管切断	〇〇	箇所	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
仕切弁室築造工 100mm	〇〇	箇所	XXX, XXX	X, XXX, XXX	第SA0001号特殊代価表
合 計				X, XXX, XXX	

第0003号 明細書 管布設工事 100mm GXPEDCP
舗装工

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	〇〇	m	XXX, XXX	X, XXX, XXX	第0100号代価表
舗装版破碎工	〇〇	m2	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
合 計				X, XXX, XXX	

第0004号 明細書 管布設工事 100mm GXPEDCP
土留工

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土留	1	式		X, XXX, XXX	第AMA0001号明細書
合 計				X, XXX, XXX	

第0005号 明細書 支給材
管布設工事 100mm GXPEDCP

〈注意〉支給材の単価と金額は、直接工事費に
含まないため、金額入力はありません。

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
グライル铸铁管	〇〇	本	---	---	管材費
GX形 曲管	〇〇	個	---	---	管材費
ボックス・土留	〇〇	個	---	---	
ポリエチレンスリーブ	〇〇	m	---	---	
合 計				---	
(内数) 管材費				---	

)

第 9001 号 明細書 運搬費

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仮設材運搬費	1	式		X, XXX, XXX	
合 計				X, XXX, XXX	

第 9002 号 明細書 準備費

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
試掘工	1	式		X, XXX, XXX	第AMA0002号明細書
合 計				X, XXX, XXX	

第 9003 号 明細書 役務費

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
建設副産物仮置場 I01=借地面積xxxm2, I02=借地月数x月	1	式		X, XXX, XXX	
材料置場 I01=借地面積xxxm2, I02=借地月数x.x月	1	式		X, XXX, XXX	
合 計				X, XXX, XXX	

様式 1-3 (土木関係工事の事例) レベル4

第 AMA0001 号 明細書 土留

これは下位明細書 (AMAで始まる明細書) の例です。
これはレベル4です。

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
軽量鋼矢板建込引抜き	○	m	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
支保材設置撤去	○	m	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
軽量金属製支保材賃料	○	現場	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
合 計				X, XXX, XXX	

第 AMA0002 号 明細書 試掘工

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
舗装版切断	○○	m	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
舗装版破砕工	○○	m ²	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
人力掘削	○○	m ³	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
合 計				X, XXX, XXX	

∫

《注意》
工事費内訳明細書の場合には、
このレベル4が必要です。

第 SA0001 号 特殊代価表 仕切弁室築造

これは特殊代価表 (SAで始まる代価表) の例です。
これはレベル4です。

10 箇所 当り

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ワトシール仕切弁室築造 I01=100mm, I02=H=0.80m	10	箇所	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
土留側設置工 (人力) I01=土留側φ250	10	箇所	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
合 計				X, XXX, XXX	
	1	箇所		X, XXX, XXX	円/箇所

∫

《注意》
工事費内訳明細書の場合には、
このレベル4が必要です。

様式1-4 (土木関係工事の事例)

第0100号 代価表 舗装版切断

100 m 当り

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
施工パッケージ	100	m	XXX, XXX	X, XXX, XXX	
合 計				X, XXX, XXX	
	1	m		X, XXX, XXX	
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 舗装版種別		1		アスファルト舗装版	
J02 アスファルト舗装版厚		1		15cm以下	

∫

《注意》
代価表については、工事費内訳書、工事費内訳明細書の提出時には不要です。
工事費積算書の提出を求められた場合は、提出が必要です。

金額の積み上げ方については、この表の摘要欄をよく確認すること。

様式2-1 (電気設備工事の事例) 記載例1

※下水道用設計標準歩掛表 第2巻 ポンプ場・処理場 (令和〇〇年度版) ポンプ処理場施設 (電気設備) 編を適用している工事

《注意》
内訳は必ず種別(レベル3)まで記載すること。
記載していないものは無効とします。

内 訳 表

(上段:前回 下段:今回)

費目・工事区分・工種・種別	数量	単位	単価	金額	摘要
本工事費					
電気設備工事					
機器費					
① 機器費	1	式		x,xxx,xxx	第0001号明細書 ①
直接工事費					
② 輸送費	1	式		xxx,xxx	第0002号明細書 ②
③ 材料費計	1	式		xxx,xxx	A+B=③
材料費(直接材料費)	1	式		xxx,xxx	第0003号明細書 A
補助材料費	1	式		xx,xxx	B
④ 労務費計	1	式		xxx,xxx	C+D+E=④
一般労務費	1	式		xxx,xxx	第0004号明細書 C
技術労務費(機器等)	1	式		xxx,xxx	第0005号明細書 D
技術労務費(単体調整)	1	式		xxx,xxx	第0006号明細書 E
⑤ 複合工費	1	式		xx,xxx	第0007号明細書 ⑤
⑥ 直接経費計	1	式		x,xxx,xxx	Σ(F...K)=⑥
特許使用料	1	式		x,xxx	第0008号明細書 F
水道光熱電力量	1	式		x,xxx	第0009号明細書 G
機械経費	1	式		x,xxx	第0010号明細書 H
機械経費(率分)	1	式		x,xxx	I
総合試運転費	1	式		x,xxx,xxx	J
特別経費	1	式		x,xxx	第0011号明細書 K
⑦ 仮設費計	1	式		xxx,xxx	L+M=⑦
仮設費(積み上げ)	1	式		xx,xxx	第0012号明細書 L
仮設費(率分)	1	式		xx,xxx	M
⑧ 直接工事費計	1	式		x,xxx,xxx	Σ(②...⑦)=⑧

内 訳 表

(上段：前 回 下段：今 回)

費目・工事区分・工種・種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
間接工事費					
運搬費	1	式		x, xxx	第 0013 号 明細書 a
準備費	1	式		x, xxx	第 0014 号 明細書 b
事業損失防止施設費	1	式		x, xxx	第 0015 号 明細書 c
安全費	1	式		x, xxx	第 0016 号 明細書 d
役務費	1	式		x, xxx	第 0017 号 明細書 e
技術管理費	1	式		x, xxx	第 0018 号 明細書 f
営繕費	1	式		x, xxx	第 0019 号 明細書 g
共通仮設費（率分）	1	式		xxx, xxx	h
現場管理費	1	式		x, xxx, xxx	i
うち法定福利費の事業者負担分	1	式		xxx, xxx	
うち建設業退職金共済制度の掛金				xxx, xxx	
据付間接費計	1	式		xxx, xxx	N+O = j
据付（技術者）間接費	1	式		xxx, xxx	N
据付（機器）間接費	1	式		xxx, xxx	O
間接工事費計	1	式		x, xxx, xxx	$\Sigma (a \dots j) = \textcircled{9}$
据付工事原価	1	式		x, xxx, xxx	$\textcircled{8} + \textcircled{9} = \textcircled{10}$
設計技術費	1	式		xxx, xxx	$\textcircled{11}$
工事原価	1	式		x, xxx, xxx	$\textcircled{10} + \textcircled{11} = \textcircled{12}$
うち安全衛生経費	1	式		x, xxx, xxx	
一般管理費等				xxx, xxx	$\textcircled{13}$
(内数) 契約保証費	1	式		x, xxx	
工事負担金	1	式		x, xxx	第 0020 号 明細書 $\textcircled{14}$
電気設備工事価格	1	式		xx, xxx, xxx	$\textcircled{1} + \textcircled{12} + \textcircled{13} + \textcircled{14} = \textcircled{15}$
工事価格	1	式		xx, xxx, xxx	$\textcircled{15}$
消費税及び地方消費税相当額(工)	1	式		xxx, xxx	$\textcircled{16}$
工事費計	1	式		xx, xxx, xxx	$\textcircled{15} + \textcircled{16}$

据付（技術者）間接費と据（機器）間接費の合計です。

機器費を含めないでください。

機器費を含めないでください。

一般管理費に含まれる金額です。2重計上に注意してください

《注意》
「出精値引 △〇〇〇円」のような記載はしないこと。

様式2-1 (電気設備工事の事例) 記載例2

内 訳 表

(上段: 前回 下段: 今回)

費目・工事区分・工種・種別	数量	単位	単価	金額	摘要
間接工事費					
運搬費	1	式		x, xxx	第 0013 号 明細書 a
準備費	1	式		x, xxx	第 0014 号 明細書 b
事業損失防防止施設費	1	式		x, xxx	第 0015 号 明細書 c
安全費	1	式		x, xxx	第 0016 号 明細書 d
役務費	1	式		x, xxx	第 0017 号 明細書 e
技術管理費	1	式		x, xxx	第 0018 号 明細書 f
営繕費	1	式		x, xxx	第 0019 号 明細書 g
共通仮設費 (率分)	1	式		xxx, xxx	h
現場管理費					
据付間接費計				x, xxx, xxx	i
据付(技術者)間接費	1	式		xxx, xxx	N+O=j
据付(機器)間接費	1	式		xxx, xxx	N
間接工事費計	1	式		xxx, xxx	O
⑨				x, xxx, xxx	$\Sigma (a \cdots j) = ⑨$
据付工事原価	1	式		x, xxx, xxx	⑧+⑨=⑩
⑩					
設計技術費	1	式		xxx, xxx	⑪
⑪					
工事原価	1	式		x, xxx, xxx	⑩+⑪=⑫
⑫					
一般管理費等				xxx, xxx	⑬
⑬					
(内数)契約保証費	1	式		x, xxx	
工事負担金	1	式		x, xxx	第 0020 号 明細書 ⑭
⑭					
電気設備工事価格	1	式		xx, xxx, xxx	①+⑫+⑬+⑭=⑮
⑮					
工事価格	1	式		xx, xxx, xxx	⑮
消費税及び地方消費税相当額(工)	1	式		xxx, xxx	⑯
⑯					
工事費計	1	式		xx, xxx, xxx	⑮+⑯

(以下の事項は別表あるいは別紙に記載でも良い)

直接工事費のうち、材料費	一式	xx, xxx, xxx円
直接工事費のうち、労務費	一式	xx, xxx, xxx円
現場管理費のうち、法定福利費の事業主負担額	一式	xx, xxx, xxx円
現場管理費のうち、建設業退職金共済契約の掛金	一式	xx, xxx, xxx円
工事原価のうち、安全衛生経費	一式	xx, xxx, xxx円

様式2-2 (電気設備工事の事例)

レベル3

※下水道用設計標準歩掛表 第2巻 ポンプ場・処理場 (令和〇〇年度版) ポンプ処理場施設 (電気設備) 編を適用している工事

第0001号明細書

機器費

これは明細書の例です。
これはレベル3です。

1式

(上段：前回 下段：今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
〇〇盤	〇	面	x, xxx, xxx	x, xxx, xxx	
〇〇装置	〇	台	x, xxx, xxx	x, xxx, xxx	
合計				x, xxx, xxx	

第0002号明細書

輸送費

1式

(上段：前回 下段：今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
機器搬入費	1	式		x, xxx, xxx	
合計				x, xxx, xxx	

第0003号明細書

材料費 (直接材料費)

1式

(上段：前回 下段：今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
電線管類	1	式		x, xxx, xxx	第AMA0001号明細書
ケーブル類	1	式		x, xxx, xxx	第AMA0002号明細書
合計				x, xxx, xxx	

第0004号明細書

一般労務費

1式

(上段：前回 下段：今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
電工	〇〇	人	xx, xxx	x, xxx, xxx	
普通作業員	〇〇	人	xx, xxx	xxx, xxx	
合計				x, xxx, xxx	

第0005号明細書

技術労務費 (機器等)

1式

(上段：前回 下段：今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
技術者	〇〇	人	xx, xxx	xxx, xxx	
合計				xxx, xxx	

第0006号明細書

技術労務費 (単体調整)

1式

(上段：前回 下段：今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
技術者	〇〇	人	xx, xxx	xxx, xxx	
合計				xxx, xxx	

第 0007 号 明細書

複合工費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
機械掘削	〇〇	m ³	x, xxx	xx, xxx	
機械埋め戻し	〇〇	m ³	x, xxx	xx, xxx	
合 計				xx, xxx	

第 0008 号 明細書

特許使用料

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
〇〇〇〇	1	式		xx, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0009 号 明細書

水道光熱電力量

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
電力使用量	1	式		xx, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0010 号 明細書

機械経費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
トラックレーン賃料	〇〇	日	x, xxx	xx, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0011 号 明細書

特別経費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
〇〇〇〇	1	式		x, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0012 号 明細書

仮設費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
作業用仮組足場	〇〇	日	x, xxx	x, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0013 号 明細書

運搬費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
作業用仮組足場運搬費	1	式		x, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0014 号 明細書

準備費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
建設発生土処分費	〇〇	m ³	x, xxx	xx, xxx	
建設発生土運搬費	〇〇	m ³	x, xxx	xx, xxx	
合 計				xx, xxx	

第 0015 号 明細書

事業損失防止施設費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
〇〇〇〇	1	式		x, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0016 号 明細書

安全費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導員	〇	人	x, xxx	x, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0017 号 明細書

役務費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
電力基本料金	1	式		x, xxx	
合 計				x, xxx	

第 0018 号 明細書

技術管理費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
〇〇〇〇	1	式		x, xxx	
合 計				x, xxx	

第 0019 号 明細書

営繕費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
監督員詰所	1	式		x, xxx	
合 計				x, xxx	

第 0020 号 明細書

工事負担金

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
取引計器移設費	1	式		xx, xxx	
合 計				xx, xxx	

様式2-3 (電気設備工事の事例)

レベル4

※下水道用設計標準歩掛表 第2巻 ポンプ場・処理場 (令和〇〇年度版) ポンプ処理場施設 (電気設備) 編を適用している工事

これは下位明細書 (AMAで始まる明細書) の例です。
これはレベル4です。

第 AMA0001 号 明細書 電線管類

1 式

(上段: 前回 下段: 今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
PDC電線 6kV 38mm2	〇〇	m	xxx	xx, xxx	
6kV CVT ケーブル 38 mm2	〇〇	m	xxx	x, xxx	
6kV EM-CET ケーブル 22 mm2	〇〇	m	xxx	x, xxx	
合 計				xx, xxx	

第 AMA0002 号 明細書 ケーブル類

1 式

(上段: 前回 下段: 今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
EM-CE ケーブル 38 mm2-3C	〇〇	m	xxx	x, xxx	
EM-CE ケーブル 22 mm2-3C	〇〇	m	xxx	x, xxx	
EM-CE ケーブル 14 mm2-2C	〇〇	m	xxx	x, xxx	
低圧ケーブル類付属材料	1	式		x, xxx	
合 計				xx, xxx	

《注意》
工事費内訳明細書の場合には、
このレベル4が必要です

金額の積み上げ方については、この表の摘要欄をよく確認すること。

様式3-1 (機械設備工事の事例) 記載例1

※下水道用設計標準歩掛表 第2巻 ポンプ場・処理場 (令和〇〇年度版) ポンプ処理場施設 (機械設備) 編を適用している工事

《注意》
内訳は必ず種別(レベル3)まで記載すること。
記載していないものは無効とします。

内 訳 表

(上段:前回 下段:今回)

費目・工事区分・工種・種別	数量	単位	単価	金額	摘要
本工事費					
機械設備工事					
機器費					
① 機器費	1	式		x, xxx, xxx	第 0001 号 明細書 ①
直接工事費					
輸送費					
② 輸送費	1	式		xxx, xxx	第 0002 号 明細書 ②
材料費計					
③ 材料費 (直接材料費)	1	式		xxx, xxx	A+B = ③
補助材料費					
④ 補助材料費	1	式		xx, xxx	B
労務費計					
④ 一般労務費	1	式		xxx, xxx	C+D = ④
機械設備据付労務費					
④ 機械設備据付労務費	1	式		xxx, xxx	第 0004 号 明細書 C
複合工費					
⑤ 複合工費	1	式		xx, xxx	第 0005 号 明細書 D
直接経費計					
⑥ 特許使用料	1	式		x, xxx, xxx	第 0006 号 明細書 ⑤
水道光熱電力量					
⑥ 水道光熱電力量	1	式		x, xxx	第 0007 号 明細書 E
機械経費					
⑥ 機械経費	1	式		x, xxx	第 0008 号 明細書 F
機械経費 (率分)					
⑥ 機械経費 (率分)	1	式		x, xxx	第 0009 号 明細書 G
総合試運転費					
⑥ 総合試運転費	1	式		x, xxx, xxx	H
特別経費					
⑥ 特別経費	1	式		x, xxx	I
仮設費計					
⑦ 仮設費 (積み上げ)	1	式		xxx, xxx	第 0010 号 明細書 J
仮設費 (率分)					
⑦ 仮設費 (率分)	1	式		xx, xxx	K+L = ⑦
⑦ 仮設費 (率分)	1	式		xx, xxx	第 0011 号 明細書 K
⑦ 仮設費 (率分)	1	式		xx, xxx	L
⑧ 直接工事費計	②+③+④+⑤+⑥+⑦	1	式	x, xxx, xxx	Σ (②…⑦) = ⑧

内 訳 表

(上段：前 回 下段：今 回)

費目・工事区分・工種・種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
間接工事費					
運搬費	1	式		x, xxx	第 0012 号 明細書 a
準備費	1	式		x, xxx	第 0013 号 明細書 b
事業損失防止施設費	1	式		x, xxx	第 0014 号 明細書 c
安全費	1	式		x, xxx	第 0015 号 明細書 d
役務費	1	式		x, xxx	第 0016 号 明細書 e
技術管理費	1	式		x, xxx	第 0017 号 明細書 f
営繕費	1	式		x, xxx	第 0018 号 明細書 g
共通仮設費 (率分)	1	式		xxx, xxx	h
現場管理費	1	式		x, xxx, xxx	i
うち法定福利費の事業者負担分	1	式		xxx, xxx	
うち建設業退職金共済制度の掛金	1	式		xxx, xxx	
据付間接費	1	式		xxx, xxx	j
間接工事費計	1	式		x, xxx, xxx	$\Sigma (a \cdots j) = \textcircled{9}$
据付工事原価	1	式	機器費を含めないでください。	x, xxx, xxx	$\textcircled{8} + \textcircled{9} = \textcircled{10}$
設計技術費	1	式		xxx, xxx	$\textcircled{11}$
工事原価	1	式		x, xxx, xxx	$\textcircled{1} + \textcircled{10} + \textcircled{11} = \textcircled{12}$
うち安全衛生経費	1	式		x, xxx, xxx	
一般管理費等			一般管理費に含まれる金額です。2重計上に注意してください。	xxx, xxx	$\textcircled{13}$
(内数) 契約保証費	1	式		x, xxx	
機械設備工事価格	1				$\textcircled{12} + \textcircled{13} = \textcircled{14}$
工事価格	1	式	《注意》 「出精値引 △〇〇〇円」のような記載はしないこと。	xx, xxx, xxx	$\textcircled{14}$
消費税及び地方消費税相当額(工)	1	式		xxx, xxx	$\textcircled{15}$
工事費計	1	式		xx, xxx, xxx	$\textcircled{14} + \textcircled{15}$

様式3-1 (機械設備工事の事例) 記載例2

内 訳 表

(上段:前回 下段:今回)

費目・工事区分・工種・種別	数量	単位	単価	金額	摘要
間接工事費					
運搬費	1	式		x,xxx	第0012号明細書 a
準備費	1	式		x,xxx	第0013号明細書 b
事業損失防防止施設費	1	式		x,xxx	第0014号明細書 c
安全費	1	式		x,xxx	第0015号明細書 d
役務費	1	式		x,xxx	第0016号明細書 e
技術管理費	1	式		x,xxx	第0017号明細書 f
管轄費	1	式		x,xxx	第0018号明細書 g
共通仮設費(率分)	1	式		xxx,xxx	h
現場管理費	据付(技術者)間接費と据(機器)間接費の合計です。			x,xxx,xxx	i
据付間接費	1	式		xxx,xxx	j
間接工事費計	1	式		x,xxx,xxx	$\Sigma(a \cdots j) = ⑨$
⑨ 据付工事原価	1	式	機器費を含めないでください。		$⑧+⑨ = ⑩$
⑩ 設計技術費	1	式		xxx,xxx	⑪
⑪ 工事原価	1	式	機器費を含めないでください。		$①+⑩+⑪ = ⑫$
⑫ 一般管理費等	一般管理費に含まれる金額です。2重計上に注意してください。			xxx,xxx	⑬
⑬ (内数)契約保証費	1	式		x,xxx	
⑭ 機械設備工事価格	1	式			$⑫+⑬ = ⑭$
⑭ 工事価格	1	式		xx,xxx,xxx	⑭
⑮ 消費税及び地方消費税相当額(工)	1	式		xxx,xxx	⑮
⑮ 工事費計	1	式		xx,xxx,xxx	$⑭+⑮$

(以下の事項は別表あるいは別紙に記載でも良い)

直接工事費のうち、材料費	一式	xx,xxx,xxx円
直接工事費のうち、労務費	一式	xx,xxx,xxx円
現場管理費のうち、法定福利費の事業主負担額	一式	xx,xxx,xxx円
現場管理費のうち、建設業退職金共済契約の掛金	一式	xx,xxx,xxx円
工事原価のうち、安全衛生経費	一式	xx,xxx,xxx円

様式3-2 (機械設備工事の事例)

レベル3

※下水道用設計標準歩掛表 第2巻 ポンプ場・処理場 (令和〇〇年度版) ポンプ処理場施設 (機械設備) 編を適用している工事

第0001号明細書

機器費

これは明細書の例です。
これはレベル3です。

1式

(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
〇〇ポンプ	〇	台	X, XXX, XXX	X, XXX, XXX	
〇〇装置	〇	台	X, XXX, XXX	X, XXX, XXX	
合計				X, XXX, XXX	

第0002号明細書

輸送費

1式

(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
機器運搬費	1	式		X, XXX, XXX	
合計				X, XXX, XXX	

第0003号明細書

材料費 (直接材料費)

1式

(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
管弁類	1	式		X, XXX, XXX	第AMA0001号明細書
計器類	1	式		X, XXX, XXX	第AMA0002号明細書
合計				X, XXX, XXX	

第0004号明細書

一般労務費

1式

(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
配管工	〇〇	人	XX, XXX	X, XXX, XXX	
普通作業員	〇〇	人	XX, XXX	XXX, XXX	
合計				X, XXX, XXX	

第0005号明細書

機械設備据付労務費

1式

(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
機械設備据付工	〇〇	人	XX, XXX	XXX, XXX	
合計				XXX, XXX	

第0006号明細書

複合工費

1式

(上段:前回 下段:今回)

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
掘削・埋め戻し	〇〇	m ³	X, XXX	XX, XXX	
塗装工	〇〇	m ²	X, XXX	XX, XXX	
合計				XX, XXX	

第 0007 号 明細書

特許使用料

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
〇〇〇〇	1	式		XX, XXX	
合 計				XXX, XXX	

第 0008 号 明細書

水道光熱電力量

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
電力使用量	1	式		XX, XXX	
合 計				XXX, XXX	

第 0009 号 明細書

機械経費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
トラックレーン賃料	〇〇	日	X, XXX	XX, XXX	
合 計				XXX, XXX	

第 0010 号 明細書

特別経費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
〇〇〇〇	1	式		X, XXX	
合 計				XXX, XXX	

第 0011 号 明細書

仮設費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
作業用仮組足場	〇〇	日	X, XXX	X, XXX	
合 計				XXX, XXX	

第 0012 号 明細書

運搬費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
仮設材運搬運搬	〇〇	日		X, XXX	
合 計				XXX, XXX	

第 0013 号 明細書

準備費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
建設発生土処分費	〇〇	m ³	x, xxx	xx, xxx	
建設発生土運搬費	〇〇	m ³	x, xxx	xx, xxx	
合 計				xx, xxx	

第 0014 号 明細書

事業損失防止施設費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
〇〇〇〇	1	式		x, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0015 号 明細書

安全費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導員	〇	人	x, xxx	x, xxx	
合 計				xxx, xxx	

第 0016 号 明細書

役務費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
電力基本料金	1	式		x, xxx	
合 計				x, xxx	

第 0017 号 明細書

技術管理費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
〇〇〇〇	1	式		x, xxx	
合 計				x, xxx	

第 0018 号 明細書

営繕費

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
監督員詰所	1	式		x, xxx	
合 計				x, xxx	

様式3-3 (機械設備工事の事例)

レベル4

※下水道用設計標準歩掛表 第2巻 ポンプ場・処理場 (令和〇〇年度版) ポンプ処理場施設 (機械設備) 編を適用している工事

これは下位明細書 (AMAで始まる明細書) の例です。
これはレベル4です。

第 AMA0001 号 明細書 管弁類

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
耐衝撃性ポリ塩化ビニル管 HIVP 25		m			
	〇〇		xxx	xx, xxx	
耐衝撃性ポリ塩化ビニル管 HIVP 20		m			
	〇〇		xxx	x, xxx	
塩美ライニング銅管 SGP-VB 25 ねじ接合		m			
	〇〇		xxx	x, xxx	
合 計					
				xx, xxx	

第 AMA0002 号 明細書 計器類

1 式

(上段:前回 下段:今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
接点付圧力計 Φ150		個			
	〇〇		xxx	x, xxx	
隔膜式圧力計 Φ100		m			
	〇〇		xxx	x, xxx	
連成計 Φ100		m			
	〇〇		xxx	x, xxx	
圧カスイッチ		個			
	〇〇		xxx	x, xxx	
合 計					
				xx, xxx	

《注意》
工事費内訳明細書の場合には、
このレベル4が必要です